

別記様式第5号（第2条関係）

記 録 票

（教育長）	課 長	主 幹	課長補佐	係 長	係 員		
小西	真鍋			中川	奥田	村重	坂本
（関係課： ）				報告者職名・氏名 課長補佐 浅井田 展彦			
件名 令和2年度第2回教科用図書選定委員会（中学校用）				方法 <input checked="" type="checkbox"/> 来庁 <input type="checkbox"/> 出張 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他			
内容 <input checked="" type="checkbox"/> 協議 <input type="checkbox"/> 質問 <input type="checkbox"/> （こちらから）照会 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
令和2年7月20日（月）16時00分～19時10分				場所 大竹市役所1階職員休憩室			
出席者	総務学事課主幹兼指導主事 村重 総務学事課課長補佐兼教育指導係長 中川 浅井田 【採択地区調査員報告者】 11名			相手方	【選定委員】 大橋 綾子（小方中学校長）、久保 忠（学識経験者）、畠中 和樹（学識経験者）、沖村 龍一（玖波中PTA）、三上 裕子（大竹中PTA）真鍋 和聰（教育委員会）		
	<p>1 はじめに 開会あいさつ（大橋会長）</p> <p>2 事務局説明 （1）配布資料の確認 ・令和3年度使用中学校教科用図書採択地区調査研究報告書 ・令和3年度使用中学校教科用図書採択地区調査研究報告書（要約） ・「選定資料（中学校用教科用図書）」（広島県教育委員会） ・展示会閲覧者カード（写）集 ※会議後回収 ・各教科書会社の教科用図書</p> <p>（2）審議内容の説明 教育委員会への答申書の作成のため、本会議において教科書の実物を確認のうえ、採択地区調査員から報告を受け、教科書採択の観点に基づき、どの教科書を推薦していくのか審議してもらいたい。</p> <p>（3）注意点 調査研究はそれぞれの教科書の特徴を調べたものであり、調査員個人の意見が影響しないようにするため、調査員への質問の際には「どの教科書が良いと思うか」といった質問は行わないでほしい。</p> <p>3 教科用図書採択地区調査員（代表者）からの報告及び質疑応答 （1）報告内容 「令和3年度使用中学校教科用図書採択地区調査研究報告書」の様式1-2及び様式2に基づいて説明</p>						

(2) 質疑応答 (【問】委員の質問, 【答】採択地区調査員の答え)

○技術

【問】開隆堂は、課題は全くないのか。

【答】他者と比較して差は認められたが、大きな課題としては捉えていない。

【問】素人からすると、開隆堂は安全面で不十分な感じがするがどうか。

【答】どれも安全について記載があり、それぞれ差はあるが課題とまでは捉えていない。

○家庭

【問】東京書籍の報告にある「(選択)」とは、具体例から自由に選択できる点を評価するという意味でよいか。

【答】そのとおりである。

【問】実生活に活かすという点で、端的に3者の特徴は何か。

【答】東京書籍では、提示されたテーマに沿って情報収集方法やまとめ方等を具体的に示してあり、授業としてもつなげていきやすいと感じた。

開隆堂では、「生活にいかそう」というコーナーで、題材に応じて生活に活かす場面が設定されており、授業としてもつなげていきやすいと感じた。

教育図書では、「考えてみよう」というコーナーで考えさせるように工夫されている。

記載の仕方や分量は違うものの、どの者も生活に活かすという観点では考えられていると感じた。

○理科

【問】報告では丁寧さをプラスの評価をしているが、教科書は自習材料ではない。丁寧さは長所なのか。

【答】「理科嫌い」という言葉があるように、理科が敬遠されがちな科目であり、丁寧さは長所だと思う。

【問】大竹市内の学校で硫化鉄実験の事故があった。東京書籍だけ、2種類の実験方法が示してある。2年生の教科書に出てくる実験について、特に調査員の間で考えられたことはなかったか。

【答】話題には上った。2種類示してある方が、失敗しにくくなるという意見はあった。

【問】東京書籍の形(縦長)について評価しているが、見づらさを感じる。学習者からの視点ではどうか。

【答】縦長の特徴として、最近は使用しなくなった資料集の内容がうまくまとめられており、特別な配慮が必要な生徒にとっては横長のものよりも見やすい。特別な配慮が必要な生徒にとっては、色使いも東京書籍が優れている。

○道徳

【問】学研は漫画やイラストが多い。特に、3年生にとっては読解させる工夫がいるのではないか。

【答】調査員の中で、学研と光村図書とは対照的であるという議論はあった。確かに、学研はイラストが多いが、他者と比較してそこまで見劣りするという意見はなかった。

【問】 日文と廣濟堂あかつきの「道徳ノート」について、生徒や先生が道徳のねらいを達成するにはどちらが使いやすいか。

【答】 日文の方が、ワークシート形式になっていて、特に発問も空欄になっているので指導者にとっては自由度があるという点で評価が高かった。

○外国語（英語）

【問】 東京書籍にのみ課題として「was, wereのどちらもセットで扱われている方が教えやすい」と記載されているが、東京書籍だけがそうになっているのか。

【答】 その点だけを比較はしていない。今までの指導ではセットでやっているので課題とした。

【問】 総合的に力をつけるという視点の項目について、啓林館だけないように思えるがどうか。

【答】 啓林館にも、「Project」で4技能5領域を統合する活動を設定している。身近なテーマが多く、また「Tool Box」の語句を見て書くことができるので、他者と比べると取り組みやすい反面、深めるという意味で問題解決のところ課題がある。

また、現在使用している教科書に近い構成なので使いやすい反面、他者が新学習指導要領の内容を盛り込んでいることからすると、対応が不十分である。

○保健体育

【問】 学研には、大きな課題がなかったということか。

【答】 強いて挙げるとすると、特別教育支援の視覚的支援という意味で、学研は比較的派手で使いにくいという意見もあったが、賛否両論があった。全体的に他者よりもよくまとまっていて使いやすいということになった。

○数学

【問】 方程式のところを重点的に見たが、どの者が丁寧に扱っていたか。

【答】 例題の種類が多さで比較できると思うが、どの者も適切であったと思う。

【問】 東京書籍のところで、『「例」と似た問題に印がしてあり、「例」を理解しているか確かめることができる。』との記載があるが、具体的に教えていただきたい。

【答】 「この本の使い方」（2学年の教科書の2ページ）で説明すると、解説付きの例題と同様な問題には印がしてあって、例題の内容をしっかりと理解しているかどうかを確認できるという意味である。

休憩（見本本の入替）

○音楽

【問】 報告ではギターダイアグラム（コード表）の示し方は、イラストと写真のどちらがいいのか。

【答】 写真は指があるのでイメージしやすく、イラストは点で示されておりどこを押せばいいかがわかりやすい。2つの見方があるとの意見があった。

【問】生徒が興味・関心をもって主体的に学習するという視点では、比較して調査員の意見はどうか。

【答】一般に教育芸術社が良いとの意見が多かった。器楽については、曲数やアンサンブルの合奏の形等を見た感じでは教育出版の方が選択の幅が広がるし、生徒が主体的に頑張れると思う。

○美術

【問】日文は3冊あるが、どのように使うのか。

【答】指導計画に関することは言及しにくい。

【問】給与の仕方はどうなるのか。

【答】1年で1冊，2年で2，3学年用として2冊を給与する。

【問】光村図書が少し縦長で小さいが、教科書の大きさについての意見はあったか。

【答】光村図書は教科書が小さい分，作品が小さくなってしまおうという意見はあった。

○社会（地理的分野）

【問】発行者によって、課題になっている点とそうでない点があり比較しづらい。

【答】様式1-1を見ていただくと比較できるようになっている。要約は様式1-1から特徴的なところを取り上げているため、比較しにくくなっている。

【問】東京書籍は他者と比較すると長所が目立つということか。

【答】他者と比較して、課題が明確となっており、思考ツール等を利用して各個人が考えを深めるような作り方にしている。趣意書も凝っていて、重要点が明確になっている。

○社会（歴史的分野）

【問】どの者も時代の特色をまとめられている中で、山川出版にはそれがないように思える。

【答】ないことはないが、わかりにくい。高校では有名で世界史を強調しており、中学生にとっては少しわかりにくいという特徴がある。

○社会（公民的分野）

【問】公民的分野に限らず、小学校とのつながりを示しているが、その必要があるか。

【答】いずれの発行者も、いずれの分野でもそれはいえる。例えば、歴史的分野では、小学校で取り上げた人物を取り上げてスムーズに学習がスタートできるようにもってきている。他分野でも同じことがいえる。

○社会（地図）

【問】東京書籍の課題として「地図以外の資料が多く記載されており、地図帳としては活用しづらい。」とあるが、地図以外の資料は必要ないということか。

【答】小学校低学年ではわかりやすいので必要かもしれないが、中学生には地図の力を引き出す必要があり、その意味では帝国書院には工夫がある。

【問】小学校でも4年生から使用しており、地図中心の帝国書院の方が扱いやすいと思うがどうか。

【答】それは言えると思う。

○国語

【問】三省堂だけは、課題発見・解決学習を意識した単元構成となっていないということ
でよいか。

【答】全くなっていないというわけではないが、少し進めにくいということである。

【問】国語は言語活動が基本になっている。文法的なこと等が各学年に掲載されている
が、それぞれの特徴の中で、どれが子どもにとってわかりやすいか。

【答】教育出版は、活動の目的を学習者に意識させにくいことを欠点として挙げている。
東京書籍は言語活動に活かせる教材であるという特徴があり、光村図書は発展的な言語
活動が明記されている。いずれにしても、甲乙つけがたいところである。

【問】東京書籍と光村図書の、長所と課題の数の差について、説明してほしい。

【答】東京書籍は長年使用しているため、短所も見えやすかったところもあるのではない
か。

【問】現在使用している教科書と比較して、意見はあるか。

【答】特にない。

○書写

【問】教科書とは別に硬筆練習帳はあるのか。この中で一番多く硬筆の練習ができるの
は、光村図書と思うがどうか。

【答】硬筆練習帳は購入する場合もあるが、光村図書には書写ブックがついており、硬筆
の練習が一番多いという点では、いいと思う。

【問】中学校で行書を学ぶが、行書の学び方について意見はなかったか。

【答】どの教科書も学習できるようになっている。生徒にとって行書を書くことはハード
ルが高いので補助線や中心線があった方が書きやすいと思う。

4 事務局説明

本日の調査研究報告を受け、答申書作成のため、7月27日開催予定の第3回教科用
図書選定委員会において、各委員から推薦する教科用図書と選定する理由を示してもら
いたい。

5 閉会あいさつ（総務学事課長）

※配布資料のうち、展示会閲覧者カード（写）集は会議後、回収した。